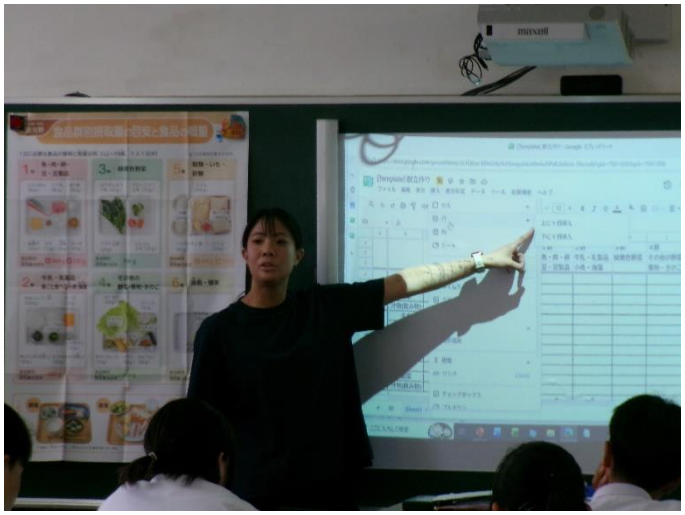
学校探訪レポート

～先生はみんなのパーソナルトレーナー！一人一人に寄り添う授業の工夫見つけました～

校長　古閑　龍太郎

生徒一人一人の生き生きとした学びを引き出し、日々の生活に結びつく探究へと伴走する「パーソナルトレーナー」としての先生方の姿を追う本企画。今回は、２年２組で行われた中村由梨香先生の家庭科（家庭分野）の授業（題材名：「中学生に必要な栄養を満たす食事」）を参観しました。「中学生の１日分の献立を考える」という主題のもと、自らの生活と引きつけながら必要な栄養を満たす理想的な献立作りに試行錯誤を重ねる生徒たちの姿をお届けします！

◆ICT（自作スプレッドシート）の利活用が生む試行錯誤と探究の深まり



中村先生の授業における大きな見どころは、自作のスプレッドシート（ワークシート）をタブレット上で巧みに活用させたデジタルと学びの融合です。生徒たちは教科書やインターネットを駆使して情報を集めながら、3 食分の献立をリアルタイムで入力し、食品群別摂取量の目安をクリアできているか視覚的に確認しつつ献立を作成していました。

数値やバランスの過不足がひと目でわかる工夫によって、「どの食品群が足りないか」「どう組み合わせれば基準を満たせるか」と自ら課題を見いだし、最後まで粘り強く工夫を重ねる姿が非常に印象的でした。

◆ 実践的な課題設定と、個のつまつまずきに寄り添う温かな伴走

授業では「家庭にある常備野菜を使う」といった実践的な条件や自分の好みを組み込めるような工夫がなされており、机上の学習にとどまらない「自分の実践的な食生活」として捉えさせる仕掛けが光っていました。

作業の途中で手が止まりそうになる生徒に対しては、中村先生がすかさず個別に声をかけ、優しく思考の整理をサポート。生徒一人一人の進捗や課題に丁寧に向き合い、自力で解決までたどり着けるよう寄り添うアプローチは、まさに専属トレーナーそのものです。

◆ おわりに

根拠に基づいて自身の食生活を工夫・創造する楽しさと大切さを生徒に手渡ししてくださった中村先生。生徒の「より良くしたい」という主体的な意欲と豊かな学びを引き出す熱心な授業づくりに、心から感謝いたします。いつも本当にありがとうございます！